

⑤ 畑 裕子 著

『源氏物語の近江を歩く』

(サンライズ出版)

今年が源氏物語千年紀という事は、皆さんよくご存知の事でしょう。私事ながら石山寺は我家の近くで何度も足を運びましたが、本書で新しい発見が幾つもありました。また、近江はこれほど紫式部とゆかりがあったとは。遠いようで意外に近い滋賀県、写真を多用した本書を読んで出掛けてみてはいかが？なお、本学図書館のHPでは書誌データベース「世界で読まれる源氏物語」を公開していますので、アクセスしてみてください。

913.36-Hat (T.F.)

⑦ 日経パソコン 編

『日中パソコン用語辞典』改訂3版

(日経BP社)

日常生活でパソコンを使う機会はとても多く、その用語も様々なものがあります。中国語を学習する上でも、また将来中国でビジネスを望む場合にも、パソコンに関する中国語の知識が必要ではないでしょうか。

本書には『日経パソコン用語辞典』の最新版に準拠した約4000語が、日本語と中国語で収録されています。日本語や英語の表記から調べることができますのはもちろんですが、例えば「Yahoo!」は「ヤァ・フゥ」または「yā hú」から「雅虎」など調べられます。次々と新しく生み出されるパソコン用語に、知識が遅れないようにしましょう。

007.6-Nicc (N.I.)



⑥ 山上博子 著

『グルジア語会話表現集
Let's Talk in Georgian!』

(文芸社)

地名で Georgia といえばアメリカのジョージア州をまず思い浮かべませんか？これがグルジアの英語表記名だとは、この地域が民族紛争地帯として世界の注目を集めるまであまり知られていなかったと思います。しかし、外大に学ぶ皆さんには、こうしたニュースだけでひとつの国を判断しないでほしいのです。グルジア語は南コーカサス語族に属し、隣接するロシア語、オセチ語のようなインド・ヨーロッパ語族の言語とは根本的に異なります。不思議な文法、丸文字のように美しい文字。グルジア語の言葉から見えてくるものがきっとありますよ。日本語と英語も丁寧に併記された、使いやすい会話集です。

829.69-Yam (N.T.)

⑧ 渡辺健介 著

『世界一やさしい問題解決の授業』

(ダイヤモンド社)

「どうせ私なんて」とすぐ諦める、「こうすればいいんだよ」と言うだけで実行しない、「○○になりたい」「○○したいなあ」と夢見るだけ、やる気はあるけど無駄が多い、そんな言動に覚えがある人は読んでみて損はありません。

本書には問題解決の方法が「世界一やさしい」と題名にあるとおり、中高生向けの易しい文章と親しみやすいイラスト・図解で書かれています。問題解決のトっかかりとして手にとってみてほしい一冊です。

141.5-Wat (K.K)